

子どもの金融リテラシー向上に向けた活動



DATA

- 主な連携先・メンバー
堺市教育委員会
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2018年度～継続中
- 活動資金
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

子どもへの金融教育の機会を提供することで、金融リテラシーの向上を図り同時に金融リテラシー教育に関する知見を深めることを目的とする

連携にいたる経緯

2016年に日本銀行が行った金融リテラシー調査をきっかけに、金融リテラシー教育の重要性に注目が集まっている。本調査によると、日本は他の先進国に比べてリテラシーの水準が低く、子ども向けの金融教育は必ずしも充実しているとは言えない。そこで、堺市の小・中・高等学校を訪問し、金融リテラシー教育につながる授業を実施することとなった。

活動内容

事業代表者である本西、協力者の小川、そして本学学生の協力もあり、2018年度および2019年度で、計5ヶ所の小・中・高等学校において金融授業を担当した。

【実施学校】

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (2018年12月) | (2020年2月) |
| ・ 堺市立さつき野小学校・中学校(6～8年生) | ・ 堺市立堺高等学校(全日制) |
| ・ 堺市立野田中学校(3年生) | ・ 堺市立さつき野小学校(5～6年生) |
| | ・ 堺市立陵西中学校(1年生) |



活動の成果

- 1 小中学生にとっては、日ごろ触れることの少ない金融の知識を獲得する機会となった
- 2 本学の学生にとって、自分たちの専門知識を発揮し、金融教育を補助する機会となった

今後の課題・目標

- 1 実施学校の先生からのフィードバックを受けることで、今後の授業に生かすこと

教員紹介



■ 経済学部 教授

本西 泰三
Taizo Motonishi

経済政策を教える中で、具体的な政策提案につながる教育の重要性を痛感し、学生には常に市の担当者や市民から得られる生の声を重視して研究を進めるよう指導している。



■ 社会学部 教授

小川 一仁
Kazuhito Ogawa

2005年、京都大学大学院経済学研究科修了。博士(経済学)。2011年に関西大学社会学部に着任。専門は実験経済学。
プロジェクトHPは
<http://www2.kansai-u.ac.jp/cee/>